

室田一雄・杉原正顯：東京大学工学教程「線形代数 I」(丸善出版)
補足と訂正 (2021 年第 3 刷)

誤り等にお気づきの方は，室田 (murota アット tmu ドット ac ドット jp) までお知らせくだされば有難く存じます。

- 51 頁 定理 2.10 の証明の補足説明：

$$\det(A + BC) = \det \left[\begin{array}{c|c} A & -B \\ \hline C & I \end{array} \right] = (\det A) \cdot \det(I + CA^{-1}B)$$

の第 1 の等号は，定理 2.9(2) で $D = I$ として B を $-B$ に置き換えれば分かります。また，第 2 の等号は，定理 2.9(1) で $D = I$ として B を $-B$ に置き換えれば分かります。

- 106 頁 注意 5.3： 行列 A は正則行列と仮定しています。
- 281 頁 下から 2 行目：

$$\{S \mid S \text{ を含む } B \in \mathcal{B} \text{ が存在しない}\} \implies \{X \mid X \text{ を含む } B \in \mathcal{B} \text{ が存在しない}\}$$

- 286 頁 [65]：

J. G. Oxley: *Matroid Theory*, Oxford University Press, Oxford, 1992.

\implies

J. G. Oxley: *Matroid Theory*, Oxford University Press, Oxford, 2nd ed., 2011.

以上